

2【沿革】

[事業系統図]

以上述べた事項を事業系統図によって示すと次のとおりであります。

投資・コンサルティング事業
E05317)

a . 創業支援事業

キャッシュ・フローの状況

第3【設備の状況】

1【設備投資等の概要】

当連結会計年度において重要な設備投資はありません。

また、当連結会計年度において重要な設備の除却、売却等はありません。

2【主要な設備の状況】

当社グループにおける主要な設備は、以下のとおりであります。

E05317)

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

E05317)

b．当社のリスク管理体制

当社は、不測の事態または危機の発生に備え、「リスク管理規程」を定め、子会社を含む企業集団全体のリスクを網羅的に把握・管理する体制の構築を行い、各々のリスクに対する未然防止に努めております。その運用において新たに発見された問題点等については、適時、是正を行い、必要に応じて再発防止の取り組みを実施(E05317)

株式会社の支配に関する基本方針

a. 基本方針の内容

当社グループは「未来に資するとともに世界の人々の健康と豊かな暮らしの実現に貢献する」を経営理念とし、創薬の初期段階である探索基礎研究・創薬研究から、非臨床試験、臨床試験まで、創薬のあらゆるステータス(E05317)

--	--	--

--	--	--

(3) 【監査の状況】

監査役監査の状況

当社の監査役監査は、監査役会制度を採用しております。常勤監査役1名及び非常勤監査役2名で構成されており、3名とも社外監査役であります。

常勤監査役友永良二氏は公認会計士として、非常勤監査役佐藤貴氏は弁護士として、各々長年の経験があり、高度かつ専門的な知見を有しております。また、非常勤監査役本坊正文氏は企業経営者としての豊富な実務経験を有しております。

当事業年度において、当社は定期的に及び必要に応じて開催しており、個々の監査役の出席状況については次のとおりであります。

監査報酬の内容等
E05317)

(4) 【役員の報酬等】

(5) 【株式の保有状況】
E05317)

c . 特定投資株式及びみなし保有株式の銘柄ごとの株式数、貸借対照表計上額等に関する情報
特定投資株式

--	--	--	--

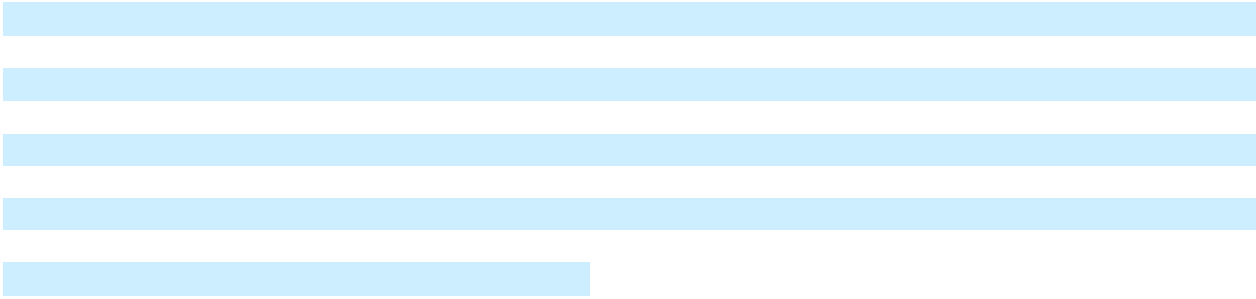
第5【経理の状況】

1 連結財務諸表及び財務諸表の作成方法について

E05317)

【連結包括利益計算書】

E05317)



E05317)

(重要な会計上の見積り)

- 2 期末棚卸高は収益性の低下に伴う簿価切下後の金額であり、次の棚卸資産評価損（戻入益： ）が売上原価に含まれております。

前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
3,492千円	163,154千円

- 3 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

8 減損損失

前連結会計年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

当社グループは、以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

|

当連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）
E05317)

(連結株主資本等変動計算書関係)
E05317)

当連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

E05317)

市場リスク（為替や金利等の変動リスク）の管理

E05317)

5 . 金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項

(ストック・オプション等関係)
E05317)

	2019年ストック・オプション
新株予約権の行使時の払込金額	1株当たり 429円
新株予約権の行使により株式を発行する場合の株式の発行価格及び資本組入額	増加する資本金の額は、会社計算規則第17条の定めるところに従って算定された資本金等増加限度額の2分の1の金額とし、計算の結果1円未満の端数を生じる場合はその端数を切り上げた額とする。増加する資本準備金の額は、資本金等増加限度額より増加する資本金の額を減じた額とする。
新株予約権の行使の条件	当社と新株予約権割当対象者との間で締結した「新株予約権割当契約書」の定めるところによる。
新株予約権の譲渡に関する事項	

(2)ストック・オプションの規模及びその変動状況

当連結会計年度(2023年3月期)において存在したストック・オプションを対象とし、ストック・オプションの数については、株式数に換算して記載しております。

ストック・オプションの数 電

(2) 税務上の繰越欠損金396,506千円(法定実効税率を乗じた額)について、繰延税金資産を99,043千円計上しております。当該税務上の繰越欠損金については、将来の課税所得の見込み等により、回収可能と判断し評価性引当額を認識しておりません。

2 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
法定実効税率	法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間の差異が法定実効税率の100分の5以下であるため注記を省略しております。	33.6%

(3) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	860,004千円
取得原価		860,004千円

(4) 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザーに対する報酬・手数料等	75,200千円
-------------------	----------

(収益認識関係)

(3) 顧客との契約に基づく履行義務の充足と当該契約から生じるキャッシュ・フローとの関係並びに当連結会計年度末において存在する顧客との契約から翌連結会計年度以降に認識すると見込まれる収益の金額及び時期に関する情報
契約資産及び契約負債の残高等
前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) (単位:千円)

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

E05317)

当連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

(1 株当たり情報)

--	--	--

【連結附属明細表】

【社債明細表】

--	--	--

E05317)

2 【財務諸表等】

(1) 【財務諸表】

【貸借対照表】

The image shows a table structure for the Balance Sheet (貸借対照表). It consists of seven horizontal light blue bars, which are likely representing the rows of the table. The bars are evenly spaced and extend across most of the width of the page.

(重要な会計上の見積り)

関係会社への投融資の評価

(1) 当事業年度の貸借対照表に計上した金額

	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
関係会社株式	1,254,044千円	1,727,947千円
関係会社短期貸付金	2,114,200千円	3,142,000千円

(2) 識別した項目に係る重要な会計上の見積りの内容に関する情報

当社は、関係会社株式の評価において、各社の株式の実質価額と取得原価を比較し、50%以上の下落が生じている場合は回復可能性があるとして認められる場合を除いて減損処理を行っております。

また、関係会社貸付金の評価において、財務内容に問題があり、過去の経営成績又は経営改善計画の実現可能性を考慮しても債務の一部を条件どおりに弁済できない可能性がある場合には、個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を貸倒引当金として計上しております。

関係会社株式の評価及び関係会社貸付金の評価に際しては、経営環境の状況を踏まえ、不確実性を十分に織り込んで算定しております。

当事業年度において、関係会社投融資の評価を行った結果、関係会社株式評価損152,896千円を計上しまし

(税効果会計関係)

1 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023 年 度)
_____	_____
_____	_____
_____	_____
_____	_____

(重要な後発事象)

(子会社の増資)

当社は、2023年4月26日開催の取締役会において、当社の連結子会社である株式会社新薬リサーチセンターに対する増資を決議し、実施いたしました。

(1)増資の理由

当該連結子会社に関連する事業の集約に伴い見込まれる損失の発生に備え、自己資本の増強により同社の財務基盤の安定を図ることを目的としております。

(2)対象会社の概要

- ・ 名称 株式会社新薬リサーチセンター
- ・ 所在地 東京都千代田区有楽町
- ・ 事業内容 医薬品・食品・化学品の非臨床試験、医薬品・食品等の臨床試験
- ・ 資本金 50,000千円（増資前）
- ・ 出資比率 100%（増資前）

(3)増資の概要

- ・ 増資金額 300,000千円
- ・ 払込時期 2023年4月27日
- ・ 増資後資本金 200,000千円
- ・ 増資後出資比率 100%

【附属明細表】

第6【提出会社の株式事務の概要】

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

監査上の主要な検討事項
E05317)

< 内部統制監査 >
監査意見

独立監査人の監査報告書

2023年6月21日

株式会社トランスジェニック

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ
福岡事務所

監査上の主要な検討事項

監査上の主要な検討事項とは、当事業年度の財務諸表の監査において、監査人が職業的専門家として特に重要であると
E05317)

財務諸表に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任